



なぎさ幼稚園便り NO. 10

新年の会・お餅つき



1月17日(土)『新年の会・お餅つき』を行いました。

直接体験を大切にしているなぎさ幼稚園では、年長さんがもち米を研ぐところから始めました。

もち米は、あまり洗いすぎると、お餅が柔らか過ぎてしまうのでよくないという事を学び、少しずつですが皆で出来る様、順番に洗いました。当日は、南葛西町会の“さざなみ会”の方をはじめ、クラブ103(※下記参照)のお父様方、PTAのお母様方にお手伝い頂き、子どもたちのお餅つきがスタートしました。

さざなみ会の皆様に“干本搗き”という伝統的な餅の搗き方を見せてもらい、子どもたちは大興奮!

子どもたちも負けずに、一人10回餅を搗く体験をしました。

『お餅が出来るまで』のコーナーでは、もち米から餅になるまでの過程を学び、『触ってみよう』のコーナーでは、搗きたてのお餅の柔らかさを実際に触り体験しました。

ただ、餅つきを楽しむだけではなく、どうやって、餅米から餅になるのか?を学びました。『なぜ』の部分も知る事こそ、なぎさ幼稚園で大切にしている特色=直接体験です。

出来たてのしょうゆ餅・きなこ餅をお腹いっぱい食べた子どもたち。お家では、あまり食べない子ども『おいしい』と言ってくれたようです。やはり、実際に、自分の手でついたお餅は格別だったのでしょ。良い経験と思い出が出来ました。

又、地域の皆様や、保護者の皆様の沢山の協力の上で実施する事が出来ていることを職員一同、感謝致しております。

楽しかったお餅つき!



※クラブ103(クラブ父さん)

なぎさ幼稚園のお父様の有志が集まり結成された団体です。

運動会や、新年の会等では、とても活躍して頂いています。



迫力満点干本搗き!



触ってみました!



お餅が出来るまでの過程を学びました!



おいしかったね!

